

左室収縮能の保たれた心不全(HFpEF)の制圧を目指す病態解明と治療法開発

医学系研究科 循環器内科学

教授 坂田 泰史 准教授 彦惣 俊吾



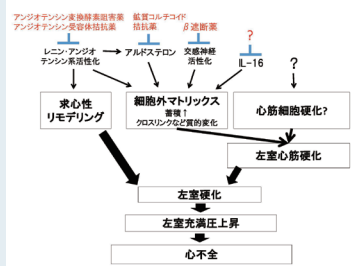
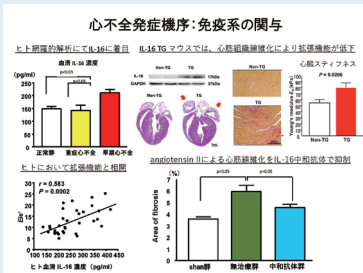
Researchmap <https://researchmap.jp/C4589>; https://researchmap.jp/hikoso_osakauniv

研究の概要

高齢化の進行に伴い、特に病態が未解明で、治療手段が確立していない左室駆出率が保たれている心不全(Heart Failure with preserved Ejection Fraction: HFpEF)患者数が増加の一途をたどっております。我々は、以前よりこの病態の解明に取り組み、動物モデルの開発から食塩感受性高血圧、レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系など神経体液性因子、炎症の関与などの病態解明、さらに新しい診断指標の確立を行ってきました。このHFpEFに対し、今まで行ってきた研究結果の臨床応用、さらなる病態解明と新規治療法開発への手がかりを得るために関西圏の30病院と共同で、HFpEF患者の登録研究(PURSUIT-HFpEF研究)を行っています。

社会実装に向けた将来展望

この研究では患者さんの臨床情報を詳細にかつ経時的に収集し、かつゲノムと血清を収集しており、予後も5年間と長期間フォローしております。現在、約1300例の登録があり、わが国で最大規模のHFpEF患者の登録研究となっています。詳細な臨床情報と生体試料の解析により、HFpEFの臨床像や問題点を明らかにして、基礎研究での病態解明や新しい診断、治療法の開発に繋がるとともに、現時点でのアンメットメディカルニーズであるHFpEFの診断バイオマーカーや治療法の開発につながる知見が得られることが期待されます。



PURSUIT-HFpEF研究

左室収縮能が保たれた心不全の予後に関する
多施設共同前向き観察研究
Prospective, Multicenter, Observational Study of the Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction

研究代表者: 坂田泰史教授 (大阪大学)

研究目的: リアルワールドにおけるHFpEFの病態を、詳細なデータをもとにした解析により明らかにすること

対象患者: 併発病なし心不全との診断で入院となった患者のうち、以下の基準を満たす者

- ・入院時のBNP/NT-proBNP < 100pg/ml
- ・入院時のEF > 50%
- ・またはBNP 100pg/ml以上であること

※除外標準をあまり設けず、幅広いreal-worldのHFpEF症例を登録

登録・データ収集

データ収集

予後調査

心不全に入院

登録症例数 1,211例 (2021年10月末現在) ・登録5年間、予後追跡5年間
原著論文 22篇

Osaka Cardiovascular Conference (OCCV)

特許

論文

参考URL

キーワード

1. Sakata Y. et al. Renin angiotensin system-dependent hypertrophy as a contributor to heart failure in hypertensive rats: different characteristics from renin angiotensin system-independent hypertrophy. J Am Coll Cardiol. 2001; 37: 293-9.
2. Tamaki S. et al. Interleukin-16 promotes cardiac fibrosis and myocardial stiffening in heart failure with preserved ejection fraction. PLoS one. 2013; 8: e68893.
3. Seo M. et al. Prognostic Significance of Serum Cholinesterase Level in Patients with Acute Decompensated Heart Failure With Preserved Ejection Fraction: Insights From the PURSUIT-HFpEF Registry. J Am Heart Assoc. 2020 Jan 7; 9(1): e014100.

<http://www.cardiology.med.osaka-u.ac.jp/>

心不全、高齢者、新規診断法・治療法

ライフサイエンス

情報通信

ナノテクノロジー・材料

エネルギー

ものづくり技術

ソーシャルイノベーション

OVVC投資先企業